

# 二大中同窓会報

発行 立 学 校  
江 東 区 中 学 会  
二 大 中 同 窓 会 表 男  
第 二 同 代 保 幸 男  
新

## 50年目から始めた同期会 1期生



一期生は1956年(昭和31年)3月卒業の4クラス219名です。

平成16年の50周年記念行事の案内をいただき、連絡できる人には全員連絡することを目指し消息を調べましたが、残念ながら全員の消息はつかめませんでした。平成16年は73人、17年は77人、18年は79人の消息がありました。

50周年記念行事で集まることを機会に同期会を開催。第1回目の16年は36人、17年も36人が集まりました。昨年18年は、11月19日(日曜日)、大

島4丁目の中国料理「竹園」で、16時から行いました。出席者29人のうち、江東区大島町内8人、都内7人、都区外14人、最遠方は愛知県刈谷市からの出席でした。3

回連続の出席は14人、初参加は2人でした。毎年同期会を開催して欲しいとの要望が強いので来年も開催する予定にしております。(嵯峨仙三)



### 同窓会のこと

二大中同窓会会長 新保幸男(4期生)

私たち、4期生は、毎年6月第二週の日曜日を「大島会」(4期生の同期会の名称)の日と定めて、集まっています。同期生は300人余りですが、毎回30〜40名が参加して、楽しい時間をすごしています。ことしは2月4日、6丁目団地の「魚つちんぐ」で新年会を開きました。

思えば私は、同窓会の発足当初から、永く、同窓会の活動に携わってまいりました。そして二大中開校50周年を前にした平成13年から、松土会長を中心に同窓会の体制を再確立して今日に至っております。

さて、昨年11月、同窓会の世話人会で、松土英男会長の後任として、私が同窓会の会長に就任いたしました。

私自身、副会長としてやってきましたが、未熟な点も多く、皆様にご協力を願うことも多々あるかと存じますが、何卒よろしくお願いたします。



### 会長退任にあたり

前同窓会会長・顧問 松土英男(2期生)

同窓生が1万人を超えた二大中が、平成16年に開校50周年を迎えるなどのこともあり、同窓会の役員体制を強化し、平成13年、再出発をさせていただきま

準備のためのミニ同窓会(平成14年11月)を開催しました。その節には、役員、各期の世話人の方々のご協力をえて、盛大に開催することが出来ましたことを心から感謝申し上げます。

会長在任中は、平成16年6月の開校50周年記念同窓会、その

また、開校50周年行事に同窓会会長として携わることができたこ

### おのじんの思い

「昨年「三丁目の夕日」と言う日本映画がヒットしたことはご存知だと思います。中学を卒業したあの頃を懐かしく思い出し、一番感動した映画でした。

我々はこの映画に出てくる主人公のひとり、集団就職で東京に出てきた中学卒業生と同世代です。この世代は昭和30年代に社会へ出て日本が高度成長をまつしぐらに走る原動力となったとの自負をそれぞれ持っていると思います。

大半が企業戦士となり、また地元で企業を起こすなど社会の隅々でそれぞれの夢を描いて頑張ってきた世代だと思います。先ごろの社会事件を見ると「豊かさに負けて夢を描けなくなる」ことがいかに怖いか実感しています。(嵯峨)

とを大変うれしく思います。

この度、会長を退任いたしますが、母校二大中と二大中同窓会のみならずのご発展をご祈念申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。





# 成人式を迎えた47期生たち

1月8日(月曜日)、江東区の成人式が開かれたティアラ江東には、二大中の47期の卒業生たちも、新



成人として集まりました。晴れ着を着た女の子やスーツ姿の男の子たちも久しぶりの再会を喜びあいました。式典では、二大中の担任だった森本発子先生からの祝電も披露されました。仲間との語らいに話の花が咲いて、ホールには入らずに、ロビーですつとしゃべっていたグループもいたほどでした。

夕方6時から、6丁目団地の居酒屋「魚つちんぐ」において、同期会を開き、59人が参加しました。メールでよびかけたところ、卒業生の半数を超える参加があり、「すごい集まりだ」とみんな驚いていました。最後はお店の前で集合写真を撮りました。

## 卒業生の近況報告

### 6期生

6期の同期仲間は小グループでカラオケやゴルフを年数回の活動をしています。相変わらずゴルフの同好会(大島会)は年二回のコンペを開催しています。江東区の若洲ゴルフ場でもコンペをしました。

昨年の還暦記念旅行では鬼怒川方面に8名の一泊旅行を行いました。12月には当然、忘年会を開催、17名の参加があり、6時から3時間でしたが、二次会にそのまま突入して、お開きは恒例ですが深夜になってしまいました。

また、9名で福島まで一泊のバス旅行にも行ってきました。塔のへつりという奇岩名所や江戸時代の街がそのまま残っている大内館、あぶくま洞の鍾乳洞を見学、喜多方で本場のラーメンも食べてきました。今年は何処にいけるでしょうか、楽しみです。

(印出)

### 7期生

私たち7期生は卒業後二度もクラス会同期会が無かったのですが、50周年記念同窓会で、同期生と43年ぶりに再会しました。同窓会当

日の二次会には出席者全員の参加があり、最終電車を気にしながら、話がつきないひと時をすごしました。その後2回目の同期会には、大江先生、広橋先生、倉持先生(旧姓佐々木)先生の参加をいただき、懐かしい思い出に盛り上がりました。大江先生より次回同期会は全員が還暦を迎えたときにするのもよいのでは、との話がありました。今年はその年になります。よ

り多くの同期生に会えるよう集合の準備を進めたいと思っています。(世話役 長谷川治澄 杉村直彦)

### 9期生

卒業同期生256名 住所確認191名(内鬼籍25名) 住所不明者65名

5年毎に定例会を行い、他の年は新年会を二十数年にわたり続けています。今年も1月27日(土曜日)、午後3時から築地で東京近郊在住の者を中心に新年会を行いました。2時間半の宴会の後、汐留再開発地区の47階からの夜景を見物した後、大島に戻って二次会、カラオケ屋での三次会で、解散が午前0時と、盛況でした。認知症(ボケ)防止のためにも毎回、会場を変えて楽しくやっています。

(高蝶)

### 大場秀章教授の 東京大学退官記念講演

大場秀章君(4期生)の退官記念講演会が、平成18年4月25日、東京大学で行われ、中学校の友人5人と出席させていただきました。出席者は、先生の母校である両国高校の友人をはじめ、ネパール・インド諸外国の方もふくめ、多数出席されました。講話は植物学にかかわる専門的な内容でしたが、大変わかりやすく話していただき、大場先生の長年の功績と交友の広さに感銘し、赤門をあとにしました。(4期生・新保幸男)

### 10期生

平成16年6月、開校50周年を記念して行われた同窓会の後、「魚つちんぐ」(大島6丁目団地内)にて、卒業して初めての10期生同期会を開催しました。平成17年11月、前回住所が分からなかったり、都合で出席できなかった人のために、2回目の十期会を開催しました。40年の時を超え、いつの間にか15歳に戻り、楽しいひと時を過ごしました。これからは二年くらいの間隔で開催の予定です。

(名越実)



### 19期生

今から13年前の35歳の時、子育てに一段落した仲良し3人組のかまし娘からのリクエストと、卒業してちょうど20年ということもあり、頑張つて学年の半数を集めて、同期会を開きました。それから早や14年近くが経ちましたが、今のところ何も予定はありません。しかし、来年は、われわれも50歳という節目の年です。そろそろ暇ができ、あの頃の二大中の仲間顔を懐かしく思い出して、同期会を開きたいです。熱烈なリクエストをしてくれたら頑張るかも!!

お世話になった明官先生がめでたくこの春定年を迎えられます。今後のご活躍を願っております。

(小林亮一 佐藤薫)

### 21期生

4年前に錦糸町「東武マリOTT」で73名参加の同期会を開催して以来、毎年、新年会・お花見忘年会と定期的に集まっています。今年も、ドイツ・ミラコスタにてリッチでお洒落な忘年会を計画中です。

(多田栄美)



# なつかしい先生方の近況

## 第二大島中学校の思い出

山崎 徹  
(平成10年度・17年度)

素直な子どもたち、協力的な保護者、心強い存在の地域、一生懸命な教職員：二大中の8年間を思い起こすと、そんなことが頭の中に浮かんできます。

平成10年4月、私は板橋区立高島第二中学校から第二大島中学校へと転任してまいりました。手入れの行き届いた中庭の美しさと、ユニークな造りの校舎はとも印象的でした。それからの8年間、鶴貝学年・森本学年・泉学年・山根学年を担当させていただき、たくさんの子どもたちや保護者の皆さんと知り合う機会を持つことができました。

私が赴任した当時も、「上級生が下級生の手本になっている」学校、「みんなが時間やきまりを守って安心して生活できる」学校としての校風はすでに完成されつつありました。そして在任中に創立45周年、さらに50周年を迎え、通常の学校行事や周年行事への取り組みを通して二大中のすばらしい校風は完全に定着したと思います。学校の主役はもちろん子どもたちですが、主役がいつもがんばれるように、陰になり日向になつて支えて下さつたのは保護者の皆さんと地域の方々です。お仕事で忙しい中を学校行事の参観に駆けつけ

て下さつた方々、学校のため子どもたちのためにと役員や委員を引き受けて下さつた方々、いつも大島の町の中で子どもたちを見守り物心両面で力を下さつた地域の方々、そして毎年毎年実績と伝統を築いてくれた卒業生の皆さん：二大中にはいろいろな力が詰まっていると思えます。特に自分で子どもを育ててみると、PTAや地域の協力がいかに大切で、またありがたいかということを実感します。同窓会の組織がきちんと整えられているのも、母校を愛する卒業生がいかに多いかを証明しているのではないのでしょうか。

卒業生の皆さんが母校である二大中を誇りに思えるのと同様に、私たち教職員もすばらしい職場を経験したことを誇りに思えるのです。これからも二大中の歴史は連続と続いていくことでしょう。その歴史に関わつた人たちが、それぞれの誇りを持ちながら...

### 8年間

前橋 博美  
(平成10年度・17年度)

私が二大中でお世話になりましたのは8年という長い時間でした。

一校目から異動してきた平成10年度。何もかもわかつていくのかと行動していたのをふり返ると、とても恥ずかしくなります。二大中の精神の中に、「相手のため

に何ができるか」というものがあります。自らのお仕事も本当にきちんと誠実にこなしただうえで、さらに相手がやりやすいように、相手のために何ができるのかまで配慮する：そんな思いやり深く、強く、尊敬すべき先輩方には8年間、鍛えられ、そして育てていただきました。

私は、教員という職につかなければ自分の魂を磨き続けることの大切さを、これ程感じることはなかったと思います。そして、自分を大きく成長させていただけなのが、二大中で過ごした一日一日であると思つていきます。心から感謝しております。ありがとうございます。

また、8年間でたくさんの生徒のみなさんにも、めぐり会えました。吹奏楽の思い出、それぞれのクラスの思い出：心に深く残っています。在校生、卒業生のみなさんの幸せを、心から祈っております。

楽しい思い出を、本当にありがとうございます!!

PTA顧問会のみなさま、保護者のみなさまにも大変お世話になり、本当にありがとうございます。一緒に部活動の大会の追っかけをした、温かな一言で救われ、立ち上がる事ができた日：本当に、忘れられない思い出です。

一つ、気がかりなのは私が会長をつとめていた「宝田さん(※)ファンクラブ」のことです。その後どなたが会長を引きついで下さつたのでしょうか：(笑)

『宝田さんファンクラブ』がなくならないよう祈りつつ、これからも

すませ発展し、すばらしい二大中でありたいように、心からお祈りさせていただきます。

8年間、本当にお世話になりました。ありがとうございます。

※中央町会長で二大中教養会副会長の宝田秀人さんのこと。

## 二大中の皆様へ

山根 清志  
(平成11年度・17年度)

二大中でお世話になった7年間は、私にとって大変思い出深い時間でした。現在は区内の深川一中に勤務しています。7年間で色々な方々と出会ったことは、今後の残りわずかな(?)教員生活に大きなプラスになることと思えます。

それは、素晴らしい同僚・生徒・保護者の方々とめぐり会えたからではないでしょうか。二大中というところは、「人として生きる」基礎を育てる場所です。それが基盤となり、たとえ在学中は分からなかったとしても、卒業して違う環境で生活してみても、二大中で学んだことがよく分かつたりするということをよく耳にしました。

また、別の角度からPTA役員の方々とOBの皆様の協力で温かいご支援によって支えられていることがたくさんありました。感謝の気持ちでいっぱいです。これからもどこかで見かけたら、気軽にお声をかけていただきたいと思います。

末筆ながら今後の二大中の発展をお祈りいたします。



# メモリアル 二大開校50周年記念行事

## ●メモリアル●二大開校50周年記念同窓会

平成16年(2004年)6月13日、二大中体育館で、開校50周年を祝う記念同窓会が開かれました。331名の同窓生と、歴代の先生方、来賓の方々合計370人を超える方々が集まりました。松土会長の挨拶のあと、出席された23人の先生方の紹介と一言挨拶、6人の同窓生代表のスピーチ(1期生、5期生、19期生、22期生、46期生、

49期生)の後、大場秀章東大教授(4期生)の記念講演、三遊亭円橋師匠(6期生)の記念落語がありました。

## ●メモリアル●記念式典・祝賀会

二大中の開校50周年記念式典・祝賀会は、10月30日、体育館で開催されました。

ひとつになって合唱しました。生徒たち全員が10年後の夢を書いて納めたタイムカプセルは、校旗掲揚塔下のグラウンドに埋めま

りました。最後に全員で校歌を合唱して、二大中と同窓会のますますの発展を誓い合いました。

その後、各期ごとの同期会が大島界限、亀戸、錦糸町まで繰り出して開かれ、旧交を温めました。

## 開校50周年行事をふりかえって

二大中学校長 山本展子

平成16年4月、二大中に着任した私は、「今年は開校50周年」という言葉に迎えられました。前任の永井恵三校長、同窓会、教賛会、PTA・顧問会の皆様のお陰で、周年行事を成功裡に終えることができました。同窓会の皆様のご支

## タイムカプセル

50周年実行委員長 梅津作栄



開校50周年の年にPTA役員としてめぐり合う事ができ、幾重にも忘れ得ぬ思い出を作らせてもらいました。中でも生徒と教職員、そして保護者有志の思い出を詰め込んだ「タイムカプセル」の埋設は、多くの方々の協力で実現した最高の思い出です。資金調達のためのバザーには多くの先生方や生徒のボランティアも加わって全員汗だくなつて取り組みました。その甲斐あって百年は持つと言う立派なタイムカプセルを購入し、校庭の片隅に埋設させてもらいま

た。開封は生徒の希望で10年後の2014年8月3日と決まりました。生徒は社会人になり、荒波に揉まれていく頃でしょう。一人も漏れなく立派に成長した姿で再会出来る事を心から願っています。そしてもう一つは祝賀会の最後に全員で歌った校歌です。半年以上の準備を掛け大成功で終えた充実感でどの顔も満足げでした。

田舎の母校を統廃合で無くした私にとって、二大中は心の母校となりました。

援は大きく、積極的な推進役として強力な味方でした。改めて深く感謝申し上げます。式典で生徒代表の詞に、江東区長が思わず拍手をされたほど好評で、後輩はしっかりと育っているとご安心ください。この大島の町では「自分も、子どもも二大中の卒業生ですよ」と言われることが多く、地域に愛されている学校として、感謝の念と責任感を強く感じています。

### 訃報

- ◆松永義信先生(社会)
- ◆亀崎浩治・顧問会名誉会長

### 【同窓会役員名】

(平成19年2月現在)

- 顧問 松土英男(2期)
- 会長 新保幸男(4期)
- 副会長 印出智之(6期)
- 事務 佐々木幸輝(11期)
- 会計 椎名由里子(10期)
- 佐藤 薫(19期)

### 編集後記

★平成16年5月に同窓会報の復刊号が出ましたが、約3年ぶりに復刊第2号が出ました。

★各卒業期の皆様から寄せられた記事と、平成17年3月に転出された3人の先生方、ならびに平成16年の二大開校50周年記念同窓会と記念行事のメモリアルを載せることが出来ました。

★今後も2年おきくらいに会報を出せたらと思います。ぜひ各卒業期の記事を寄せてください。待っています。



全員で校歌を合唱(上)  
記念講演をする大場先生(左)



祝賀会は、10月30日、体育館で開催されました。式典は二大中学生の態度が立派だと来賓の方々からお褒めの言葉をいただき、祝賀会には地域の方々を始め関係者250人が参加して盛大に開かれました。フィナーレは実行委員の方々、先生方全員が壇上に上がって、校歌を会場と

